

## 新たな歴史の第一歩を 歩み始めました (4月8日)

息郷小学校と醒井小学校が一つになった「河南小学校」の開校式と入学式が行われました。

子どもたちは、校歌の作曲者である岡田健太郎さんのピアノ伴奏に合わせて新しい校歌を元気いっぱい大きな声で歌っていました。

「ともだちをたくさん作って、学校の勉強にもがんばりたい」とキラキラと輝くその姿は、新しい学校の始まりに胸を膨らませているようでした。



小学校生活を思いっきり楽しんで、未来の米原市を担ってくれる元気なまいばらっ子に育ててほしいですね。

## 被災地の復興支援に 募金などを寄託 (4月9日)

奥伊吹スキー場を運営する奥伊吹観光株式会社の草野社長から、東日本大震災の支援に役立ててほしいと平尾市長に寄付金を寄託されました。

4月分のリフト売上金と、6日と7日のチャリティー営業で来場者に募った募金を合わせて総額1,234,318円。7日には、トリノ・バンクーバー五輪に出場された伊藤みきさんの妹・伊藤さつきさんも活動に参加され、来場者に募金を呼びかけておられました。

草野社長は、「大きな被害を受けた被災地に支援の気持ちを届けたい」と話



されていました。

なお、お預かりした寄付金は、水源の里の同志である福島県相馬市に義援金としてお届けしました。

## 春の彩りお弁当 暖かな陽気で気分もホカホカに (4月13日)

一寸同志会による男の料理教室「春のお出かけ弁当を作ろう！」が開催され、男女13人の参加者がテーマに合わせた7品を調理されました。

講師の指導のもと、普段は家で料理をしない人からプロの料理人まで、みなさん和気あいあいとした雰囲気の中で終始楽しく調理をされました。

参加者の男性が、「めちゃうちゃ美味しそうにできた！」と喜びの声とともに、一足先にパクリと頬張る一幕もありました。



出来上がったお弁当を三島池の桜を見ながらおいしそうに食されました。

お弁当を持ってのお出かけもいいものですね。

まいばら

まんすりー

れぽーと

## 地域密着型施設 双葉総合体育館が完成 (4月16日)

双葉中学校敷地内に建てられた双葉総合体育館の竣工式が行われました。

この体育館は、バスケットボールコートが2面とれる大アリーナとバレーボールコートが1面とれる小アリーナなどを備え、市民のみなさんにご利用いただけます。

健康づくりやスポーツ活動はもちろん、地域の交流拠点として「ふれあいの場」となることが期待されています。この日は、完成を祝い双葉中学校吹奏楽部による演奏も行われ、美しい音色



が木の香りいっぱいの新しい体育館に響いていました。

## 冒険の遊び場 上丹生協働提案事業開催 (4月20日)

上丹生のふれあい広場周辺を会場に「冒険の遊び場」が開催されました。

この冒険の遊び場は、自然環境の中、子どもたちが創意工夫し、挑戦・失敗を繰り返しながら遊び、成長できる場を提供する事業で、地元まちづくり団体「プロジェクトK」が取り組みをスタートされました。

テーマは、子どもたちの“自由と自己責任”。この取り組みは、市民と行政が協働で地域課題の効果的かつ効率的な解決を進める「まいばら協働事業提案制」の採択を受けて実施されています。



毎月第3土曜日に開催され、参加は無料で申込も不要です。一緒にみんなで楽しく遊びませんか。

## 開館14周年記念&子ども読書の日記念イベント 近江図書館 (4月20日、21日)

開館14周年と、こども読書の日を記念して「スペシャルおはなしかい」や、「はにわ山大冒険」「スプリングコンサート」などのイベントが近江図書館や、はにわ館で行われました。

音楽に合わせて楽器を鳴らしたり、歌をうたったり、おどったり、親子で楽しいひと時を過ごされました。

最後の曲が終わっても、鼻歌まじりにおどる子どもたちの姿もありました。



まいばら

まんすりー  
れぽーと